



# 輝け！北っ子！

## 令和5年 北小はコミュニティ・スクールになります ～「地域とともにある学校づくり」の推進～

「コミュニティ・スクールって何？」

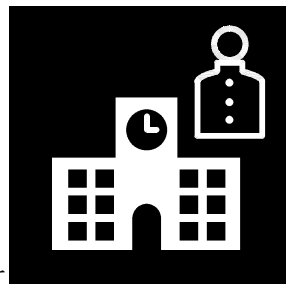
「北小じゃなくなるの？」

いろいろな「？」が浮かんでいるかもしれませんが、心配はいりません。コミュニティ・スクールとは簡単に言えば、「地域とともにある学校づくり」に向けて、「学校運営協議会」という組織を新たに立ち上げ、学校と家庭・地域が一体となって子どもたちの豊かな成長を目指そうというものです。

(コミュニティ・スクール＝学校運営協議会が設置された学校)

社会の急激な変化、ICT化／グローバル化、人口の減少、子どもの規範意識や社会性の問題など、子どもたちを取り巻く課題は多様化、複雑化してきています。学校だけでは十分な解決はできず、社会総がかりでの取組みが不可欠になってきています。そこで、このコミュニティ・スクール制度が注目されたというわけで、全国の導入状況は現在約30%といったところです。近隣の本宮市・大玉村等は随分先行して取り入れています。

二本松市においては、大平小が先行して取り組み、令和4年度～6年度にかけて、すべての学校に順次導入が計画されています。北小は令和5年度の導入予定となっています。これまでも学校と地域の連携は様々な形で進められてきましたが、これまでの連携の多くは、学校の要請により保護者や地域が支援を行うという「支援型」が多いというのが現実でした。コミュニティ・スクールでは、子どもや学校の現場や課題、目指す姿等を共有した上で、「学校としてできること」と「地域としてできること」を出し合いながら、子どもたちのために一体となって取り組んでいく「協働型（双方向）」での連携を目指していきます。



コミュニティ・スクールを導入するには、学校内に「学校運営協議会」を設置する必要があります。現在、学校運営協議会委員を検討しているところですが、PTA代表、町内会代表、交通安全関係代表、学識経験者等入っていただきたいと考えています。じっくり話し合い、一緒に動きながらよりよい学校を目指していきたいと思っています。

もちろん、コミュニティ・スクールは万能薬ではありません。即効性のある特効薬でもありません。「できることから少しずつやってみる」ことで少しずつ少しずつ多くの人に関わる協働体制が構築されていくものだと思います。行動しなければ改善はありません。やってみなければ変化はありません。とにかくやりながら、改善を加えながら地域とともにある学校づくりを目指していけたらと思っています。ご理解とご協力の程、よろしくお祈りします。

※ 裏面に文科省出だしているコミュニティ・スクール解説図を載せました。参考にしてください。

## 自分の中の「鬼」を追い出そう ～「節分」～

2月3日は「節分」。学校では、新型コロナウイルス感染症のこともあり、多人数で大きな声を出して鬼を追い払ったり、福を呼び寄せたりは今のところできません。また、誤飲による事故なども報告されており、「豆まき」等は控えます。日本の伝統的な年中行事は年々縮小傾向にあると言われます。年中行事の中にある「想い」も含めて、大事にしていきたいと思っはいるのですが・・・。ご家庭での取組を期待しています。

学校の中にも、節分に関する掲示が見られます。児童会（集会委員会）で企画した鬼に関するクイズや図書室前には鬼が出てくる本が紹介され

ています。

どうぞご家庭でも「鬼」を話題にしながら、子どもたちと話をしてみてください。「自分の中の鬼を何?」「追い出したい鬼は?」子どもたちは自分を見つめ直して、こんなところを直したいというものを「鬼」とたとえて表現すると思います。

